

授業概要

本講義では、プロスポーツクラブ、スポーツNPO、スポーツ用品メーカー、フィットネスクラブ、スポーツ小売店などスポーツを「事業（営利・非営利含む）」として行う活動の総称である「スポーツマネジメント」について講義する。なお本講義では、「事業」としてのスポーツの特性のみならず、事業としてスポーツを取り扱う組織の経営方法や管理方法などもスポーツマネジメントの範疇に含め、講義を行いたい。

授業計画

第 1 回	ガイダンス、スポーツマネジメントとは
第 2 回	スポーツマネジメントの基本原則
第 3 回	スポーツ組織の経営戦略
第 4 回	スポーツ組織論①（組織構造）
第 5 回	スポーツ組織論②（モチベーション）
第 6 回	スポーツ組織におけるリーダーシップ
第 7 回	スポーツ組織における国際化
第 8 回	中間試験
第 9 回	スポーツ組織における多角化
第 10 回	スポーツ組織における企業家精神
第 11 回	スポーツ組織におけるイノベーション
第 12 回	プロ野球のマネジメント
第 13 回	Jリーグのマネジメント
第 14 回	スポーツイベント（オリンピック）のマネジメント
第 15 回	学生（グループ）によるプレゼンテーション
第 16 回	期末試験

到達目標

- ・「スポーツマネジメント」とは何か、自分の言葉で説明できるようになること。
- ・スポーツマネジメントの理論を、事例を交えながら説明できるようになること。
- ・スポーツ経営現象を分析するための理論フレームワークを習得すること。

履修上の注意

- ・スポーツに関するニュースだけではなく、経済・経営に関わるニュースにも関心を持つこと。
- ・スポーツマネジメント系大学院の進学希望者、スポーツビジネス系企業への就業希望者は自分で積極的に情報を収集し、行動を起こすこと。そのための相談には応じるので遠慮なく相談に来て欲しい。

予習・復習

予習はテキストの指定された箇所に目を通すようにすること。復習はテキスト、配布資料に目を通すこと。

評価方法

期末試験 30% 中間試験 20% プレゼンテーション 20% 講義時間内に課す課題 30%
60 点以上の点数取得者を合格とするが、授業時間内のスマホいじり、居眠り、遅刻は減点対象とする。

テキスト

- ・教科書名：『スポーツ経営学入門—理論とケース—』
- ・著者名：大野貴司
- ・出版社名：三恵社